

研究課題 (テーマ)		留学生の日本国内におけるインターンシップ推進を目的とした Web 会議システムの活用による実施支援手法に関する試行	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	環境・社会基盤工学科	教授	畠 俊郎
研究結果の概要			
<p>近年増加傾向にある留学生の国内定着促進や、日本人学生の母国語以外の言語によるコミュニケーション能力向上および就業後の国際化への準備などを目的として留学生の国内インターンシップ推進および web 会議システムなどの活用によるフォローアップ体制の構築に取り組んだ。</p> <p>本学の博士前期・後期課程に在学する学生は中国、スリランカ、インドネシア、ミャンマーなどアジア圏出身者が多い。学生の中には入学前に日本語によるコミュニケーション能力を学習してくるものもいるが、多くは来日後に大学等の支援を受け日本語の学習を始めることとなる。この本学に在学する日本語コミュニケーション能力向上に取り組んでいる留学生の中には修了後に日本での就業を希望するもの少なくない。日本での就業準備としては、希望する業界に関する情報入手は日本のビジネススタイルへの理解度を高める等の観点からインターンシップを希望する学生が存在する。しかしながら、日本語による十分なコミュニケーションが困難な学生について上記インターンシップを支援する枠組みは整っていないのが現状である。</p> <p>本件では、博士後期課程に在学中の学生を対象として日本人学生による TA 等を活用しながら国内企業でのインターンシップ準備および実施に取り組んだ。</p> <p>インターンシップの受入れ先選定前に、実施時に求める条件等について県内・県外で海外展開を進めている建設・環境分野の企業にヒアリングを実施した。このヒアリング結果とインターンシップを希望する学生のマッチングを行った結果、建設コンサルタントで実際に英語によるインターンシップを実施することとなった。</p> <p>実施期間中は定期的に日本人 TA 学生および指導教員と Skype でフォローアップを進めるとともに、終了時には受け入れ先企業との成果報告会などを開催した。</p> <p>この留学生の国内定着促進を目的とした取り組みと合わせ、留学生が持つ出身国でのネットワークを活用して日本人学生のアジア地域でのインターンシップ実施の可能性および web 会議等を活用した業務体験にも取り組んだ。本年度についてはミャンマーの政府系機関を対象とし、彼らの業務内容を紹介いただくとともに、本学 環境・社会基盤工学科の取り組みについて Web セミナー形式で交流にも取り組みお互いの交流を進め次年度以降の日本人学生のインターン準備を行った。</p>			
今後の展開			
<p>留学生の受入可能企業については継続的にアンケートなどを通じてフォローを継続する計画である。あわせて、日本人学生とセットで業務体験とコミュニケーション能力向上という相乗効果を期待する新たな枠組みについても検討を進めたい。この留学生のインターンシップとあわせて実施した日本人 TA の海外との連携実績をもとに、近い将来には日本人学生が逆に海外でインターンシップが行い国際的なつながりを意識したインターンシップ実施体制も整えていきたい。</p>			